

神戸市立工業高等専門学校 学校報“COLLEGE”12月号 p12に『国際交流体験記』として掲載

国際交流体験記(2)

My trip to Seattle

応用化学科2年 藪内 祐人

僕は7月27日から8月2日までシアトルへ行き、たくさんのことを経験して帰ってきました。今まで海外には行ったことがなく、日本を離れてまったくの異世界に飛び込んでいくという意味で、出発前から本当に楽しみでした。同時に、英語で人とうまく会話できるかとか、不安もありました。でも空港でホストファミリーが温かく迎えてくれたので、心配事はすべてなくなり、わくわくした気持ちで僕にとっての大冒険が始まりました。

1週間のうち2つの家庭にホームステイに行きました。1軒目は大の仲良し家族で、僕もすぐに馴染めました。お父さんが妹(12歳くらい)に向かって、“I love you”とか普通に言っていて、妹も全然恥ずかしそうにありませんでした。他にも観覧車に乗るときに、列の前後の人と会話をしたりしているのを見て、アメリカ人のFriendlyさに驚きました。でもとても楽しそうだったので僕も真似してみようと思い、“Hello”とか“Thank you”くらいの英語は知らない人にも積極的に言ってみました。やってみると意外と簡単なもので、僕自身もとてもオープンな性格になりました。そのおかげで、たくさんの友達ができてとてもうれしかったです。2軒目はアクティブな家族でした。ホストブラザーのEddieは高校生ですが、車を運転できるのでいろんな所へ連れて行ってくれました。とても荒っぽい運転でUターンとかを連発していたけど道路が広いので余裕でできていました。夜の10時くらいにストリートでバスケットを楽しんだり、彼の友達も連れて遊園地にも行ってアメリカの高校生ライフを満喫させてもらいました。数えきれないくらいたくさんのことをしましたが、どれも新鮮で刺激的な思い出になりました。

今回のシアトル派遣プログラムは僕の世界観を大きく広げてくれたと思います。日本の常識がすべてじゃないんだと痛感すると同時に、これからもっとたくさんの国へ行ってみたいと思いました。また、シアトルで見たFriendlyさはすごく気に入っているので、それを周りの人に発信していくために、挨拶を元気良くするなど、これからも継続していきたいです。

